

《LLブックをつくろう》製作体験について》

高野一枝

1. 製作体験

2024年8月から4回に分け、びわ湖東北部地域「地域を担う人材の育成プロジェクト」の一環として「LLブックをつくろう」研修を、滋賀文教短期大学にて受講。

2. 製作の動機

2014年6月から、退職した会社 NEC ネクサソリューションズ(株)自治体ポータルに、「会社の宣伝はしない」を条件に、コラム『図書館つれづれ』を月に一度書いている。最近では Zoom など遠隔での研修も増えているが、研修は東京集中していて、地方の方は研修一つ受けるのも、費用も休みも負担になる。拙い文章ではあるが、図書館の周りで起きていることを情報発信できるならと、引き受けた。

とはいえ、コラムのネタ探しは大変で、LLブックの作製体験がコラムになればと受講を決意した。

3. 作成のテーマ

名古屋市図書館には、「ここにもライブラリー」という地域との連携事業がある。申し出のあった場所や団体に、団体貸出の形式で本を貸出し、年に数回、本の入れ替えをしている。

名古屋市南区にあるレンタルスペース「シバテーブル」は、この「ここにもライブラリー」を利用するレンタルスペースで、外国人や引きこもりの子どもたちも引き受ける、大人も子供も集うコミュニケーションスペースになっている。

LLブックの講座は図書館関係者が多いので、図書館案内や旅の話を題材にする受講者が多い。

そこで、「ここにもライブラリー」を利用している「シバテーブル」のことをテーマに選んだ。

他の地域でも「図書館と地域の関わり」の参考になると思い、タイトルは、「みんなのいばしょ シバテーブル」とした。

4. 作成過程と体験談

LLブックの基本である「やさしい日本語」について学びながら、ハートフルブックサイトの編集ツールを使用して作成した。その失敗や体験し感じたことを発表する。

「LLブックの制作体験について」

2025.2.25
高野 一枝

1

＜自己紹介＞

- ・20年間、公共図書館システムの開発・導入・保守に従事
⇒2011年9月に定年退職
- 現在、NECネクサソリューションズ(株)自治体ポータルにて
「会社の宣伝はしない」を条件に
2014年7月より月に一度
Webコラム「図書館つれづれ」を執筆中
- ・2024年8月から4回にわたり開催された、
「LLブックをつくろう」研修に参加

↓

LLブック『みんなのいばしょシバテーブル』を作成

2

＜受講の動機＞

- ・滋賀文教短期大学の有山裕美子さんに誘われたから
- ・Webコラムのネタになるかも

長浜までの旅費負担

コラムネタ&未知への好奇心

受講を決める

3

＜「やさしい日本語」研修からの極意＞

- ・やさしい日本語の「やさしい」には2つの意味がある
「優しい心」と「易しい言葉」
- ・やさしい日本語作成には、
漢字や言葉の使い方、文章の長さなどに工夫が必要
- ・ポイントは、「短く、かんたんに、はっきりと」
- ・短く:文を短くする＝一文で伝えられることは1つのみ
- ・かんたんに:対象者の「難しい」を知る

表現	例や言い換えなど
オノマトペは具体的な言葉に	頭がずきずきします → 頭が痛いです ざわざわしています → まわりの音が大きいです
尊敬語・謙譲語は丁寧語に	ご利用いただけます → 使えます ご覧ください → 見てください
漢語は和語にする	蔵書 → 図書館にある本 本の返却期限日 → 本を返す日
カタカナ語は、避けるか補足を	キャンセルします → 予約をやめます サインしてください → 名前を書いてください インターネット → インターネット(Internet)

4

＜便利なツール＞

- ・小学校で習う漢字検索
http://denki.naraedu.ac.jp/~yabu/edu/kanji/kanji_js.html?fbclid=
文章中の漢字が、小学校何年生で習うか教えてくれる
基本は3年生までの漢字を使用とのこと
- ・やさしちチェッカー
<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/?fbclid=>
文章を入れると、「語彙・漢字・硬さ・長さ・文法」の5項目を判定
基本は、文章は一文で簡潔にして、難しい言葉は置き換える
- ・日本語読解学習支援システム「リーディング チュウ太」
<https://chuta.cegloc.tsukuba.ac.jp/>
文章を他の文章に言い換える → 複雑な文章になることも
- ・JIS規格ピクトグラム (公益財団法人 共用品推進機構)
https://www.kyoyohin.org/ja/research/japan/jis_t0103.php?fbclid=
- ・在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインほか(文化庁)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

5

＜LLブックのテーマ＞

名古屋市図書館の地域との連携事業
「ここにもライブラリー」と
名古屋市南区にあるレンタルスペース「シバテーブル」
をテーマに決める

外国人や子どもたちのコミュニケーションスペースになっているシバテーブルと図書館の連携は、他の地域でも参考になる

6

＜小学校3年生にモニターになってもらった＞

- ・ベトナムの親子 → ベトナムから来た親子（端折らない）
- ・やっていないお店 → しまっているお店（否定形にしない）
- ・低学年では習わない牛乳の「乳」は、そのまま記入（日常的に馴染みがあれば使用）
- ・「などなど」などの、便利な言葉も御法度
- ・「すぐに」には、場所をさすのか、時間をさすのか 接頭語や接尾語は注意
- ・分かち書き
「～ね」と、「ね」を入れてみて、違和感なければ、分かちした方がよいとのアドバイス

7

＜編集ツールの失敗談＞

- ・小さな矢印の画像がお化けになる
- ・ページのコピーをしたかったのに 同じページに画像がてんこ盛りになった
- ・作成した画像が取り込めない！



失敗談には事欠かなほど失敗した！

8

＜ちょっとだけおさらい＞

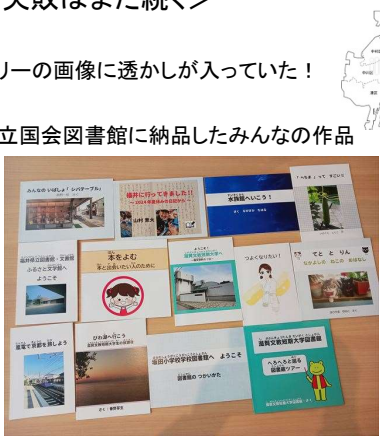
- ・画像サイズとはキャンパスの大きさ
画像の大きさを「横幅のピクセル数×縦幅のピクセル数」で表します。ピクセルとは、画像を構成する最小単位で、画像の色合いや明るさなどのデータを持っています。
- ・ファイルサイズ
データファイルの容量のことで「B(バイト)」として表します。画像の情報量でファイルサイズが決まり、同じ画像でも保存方法によってファイルサイズが異なります。
- ・画素の密度を示す解像度(dpiまたはppi)
1インチの中にピクセルが何個あるかを表す “プリンタ・モニタ・スキャナ” など出力機器で使われる解像度の単位。解像度が高いほど鮮明な画像になり、解像度が低くなれば粗い画像になります。

「ppi」「pixel」は制作画面上の単位、「dpi」は出力用の単位

9

＜失敗はまだ続く＞

- ・フリーの画像に透かしが入っていた！
- ・国立国会図書館に納品したみんなの作品



オーマイガー！

10

＜実際に作ってみての感想＞

- ・平易な文章は、単にルビを振ればよいわけではない！
- ・大切なのは、相手を思いやり、如何に届けるかハートの問題♥
- ・障がいのある方や高齢者・外国の方など必要な人に、暮らしに直結する大事な情報が届く工夫

最後の岩の図書館にできることは？

11

おわりに

失敗したからこそ気付く

平易な文章の難しさ

私、ハートフルブックの講師になれます(笑)

12